

ひろげる つながる ろうけんの輪

# ろうけん

ROKEN Kagoshima

鹿児島



No.102

令和3年(2021)  
1月1日発行



「黎明」 祝迫正豊

# INDEX

時代を読む ..... 1  
 今村 英仁  
 鹿児島県老人保健施設協会 30 周年 ... 2~3  
 市来 保之  
 研く 究める ..... 4~11  
 協会だより ..... 11  
 令和2年度 研修会 ..... 12~13  
 こぼれおちたものもの<sup>㉔</sup> ..... 14  
 三角 みづ紀  
 日本遺産・薩摩の武士が生きた町<sup>㉕</sup> ... 15  
 下鶴 弘  
 ぶらぶらが素敵 かごしま<sup>㉖</sup> ..... 16~17  
 ふるさとフォーカス ..... 18  
 ろうけん広場 ..... 19  
 介護用品あれこれ ..... 20~21  
 あなたの地域の介護老人保健施設 ..... 22~26  
 伊佐・始良地区  
 日置・川薩・北薩地区  
 鹿児島地区  
 曾於・肝属地区  
 南薩地区・熊毛・大島地区  
 表紙絵  
 「黎明」 ..... 27  
 祝迫 正豊  
 編集後記 ..... 27

## ろうけんとは

「ろうけん」とは、介護保険が適用される介護老人保健施設の愛称です。県内の78カ所の施設が公益社団法人鹿児島県老人保健施設協会を組織しています。この冊子「ろうけん鹿児島」は、同協会の広報誌です。

## 時代を読む

### 不測の事態、対策と想定を

鹿児島県老人保健施設協会 会長

今村 英仁



前年は新型コロナウイルス禍が始まり新型コロナウイルス禍で終わる1年でした。今年こそは明るい1年を願っていたところですが、まだまだ先行き不透明な船出となりました。今年1年のあり方考えるために昨年1年間の動きを少し振り返ってみます

鹿児島県では3月初めて新型コロナウイルス感染者が発生しましたが、6月、鹿児島市内で大型のクラスターが発生するまではほとんど問題となりませんでした。一時期は東京、大阪のような大都会とは異なる気までありました。それが大型のクラスターが発生したために一気に九州内でも福岡に次いで感染者の多い県となりました。

鹿児島県が本格的に高齢者施設

での新型コロナウイルス禍対策に取り組み始めたのも同時期です。当初、少しのんびりと話を進めていたのが、県内のクラスター発生を受けて体制づくりを急いで行うこととなりました。鹿児島県には1000か所以上の高齢者の施設がありどのような方法で新型コロナウイルスへの対応を行うかが真剣に議論されました。この際に役立ったのが全国老人保健施設協会(全老健)で取り組んでいた新型コロナウイルス禍対策です。

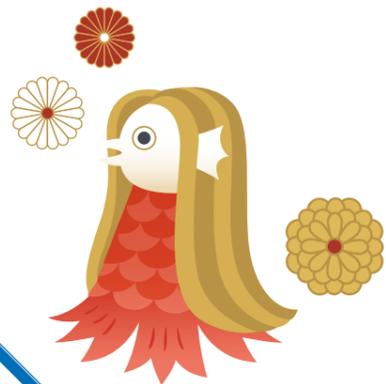
全国では5月末の段階で約20か所の老健でクラスターが発生しました。この際の知見により、一旦、高齢者施設である老健で感染者が発生すると、一気に感染が広がりがなかなか収束させることが困難な事、ご利用者に感染が及ぶと致死的だ

ということがはつきりしました。5月末までに老健のご利用者205名に感染し、そのうち47名の方が亡くなっていますので致死率が20%程度と非常に高いです。

これらの結果を踏まえて全老健では、厚生労働省とも協力しながら新型コロナウイルス対策を立てて様々な支援策を作成していました。今回、鹿児島県と高齢者施設の新型コロナウイルス対策班を設立し対応策を作成しました。約2カ月かけて作成した新型コロナウイルスクラスターが発生した際の対策については既に県下78か所の老健にお届けしています。この対策の中では、老健でクラスターが発生した際に介護スタッフの応援が必要となった際の派遣については鹿児島県老健協会がコーディネート役を務める事となっています。鹿児島県と「高齢者施設における感染症発生時の職員派遣に関する覚書」を締結し、いざというときに活動できるようにしました。

これまでの鹿児島県下の老健の新型コロナウイルス対策を立てるなかでいくつか大事な点が浮き彫りになっています。一つは、この職員派遣は外部から派遣されるのではな

くて県下78カ所の老健が協力してクラスターが発生した老健に助けに行く互助の仕組みである事、二つ目は、この互助の仕組みについては行政がバックアップして行政の責任の下で派遣が行われることです。鹿児島県老健協会はこれらの事を踏まえて78の老健の皆さんとしっかりとしたネットワークを構築していきます。そしてこのネットワークは新型コロナウイルスのみではなく、将来も起こりうる予期しない事態に備えるためのネットワークにも役立つように整備していきます。最後にこのネットワークが役立つためには個々の老健が日頃から不測の事態の対策とコミュニケーションを行っておくことが不可欠です。令和3年を皆で協力して無事に乗り切りましょう



# 鹿児島県老人保健施設協会30周年 社会福祉法人隼人会事務局長 市来 保之さん(74)に聞く

## 「方向性も運営も手探り」 協会発足時を振り返る



公益社団法人・鹿児島県老人保健施設協会が2020年7月に設立30周年を迎えました。長きにわたって県内の介護老人保健施設が連携・協力して、保健医療・福祉サービス向上のための研修や啓発活動を行ってきました。節目の年に当たり、本来であれば多くの方々とともに祝典を開きたいところでしたが、コロナ禍でかきまきません。そこで協会立ち上げ時のことなどを初代事務局長を務めた市来保之さん(74)に振り返ってもらいました。

（聞き手 米森編集委員）  
老人保健施設は1987(昭和62)年の老人保健法改正で設置されることになり、病院と家庭、あるいは特別養護老人ホームなどの福祉施設との「中間施設」として位置づけられました。

県老人保健施設協会は、1990(平成2)年7月に県老人保健施設連絡協議会としてスタートしました。県内の老健施設第1号である「指宿温泉菜の花苑」(指宿市)など7施設が正会員となり、協会事務局は当初、私の勤める「老人保健施設はやひと」が引き受けました。

老健施設は新しい形の施設として歩き始めました。しかし施設の運営だけでなく、老健施設の方向性を見定めようとする協議会の活動も手探りでした。行政に提出する書類一つとっても、どのようなものがいいのか分からず、県の担当者との話し合いも何度となく重ねました。

一番力を入れたことはみんなで会員施設の書類などの標準化を図り、全体を底上げすることでした。「横並び」でできることは積極的に進め、質を高めた上でさらにそれぞれの施設が努力して個性を発揮していけばいいのですから。施設で研修会や研究発表会なども早い段階で行い、互いに研さんを積んできました。

減る中、老健そのものが今のままでいいのか、新たな課題に直面しています。

今後、都市部と過疎地で同じ形でやっていけるのか。過疎地では老健施設もスケールダウンしていかないといけないのかどうか。利用者だけでなく介護者も減っていくわけですから、地域によって求められるものが違ってくるのではないかと私は思います。

ただ、時代が変化しても老健施設の重要性は変わらないと私は信じています。利用者や家族が、快適に自分らしい日常生活を送れるよう支援していくことは続きます。



# 鹿児島県老健協会 創設30周年に寄せて

きりしま

施設長 杉安 ひろみ

手元に「老健かごしま」創刊号がある。これは鹿児島県老健協会が設立された4年半後(1994年2月)に創刊された。今と同じスタイルの広報誌だがページを繰り、有村会長を始め理事の方々の写真を見ると「光陰矢のとし」をしみじみと感じる。高齢化社会への対応をいち早く見据え、日本の、鹿児島の、老人問題に対応していく熱意と志に改めて敬意を表す。

例えば当時の老人施設は「養老院」というイメージが強く、家族も本人もなかなか入所に至らなかった。医療とリハビリと介護を兼ね備えた中間施設としての老健が老人施設の負のイメージを払拭し、その後介護の社会化、介護保険の創設へと繋がっていく。

今や介護の社会サービスを利用するのは当たり前となり、女性の社会進出等社会の在り方も一変した。又、1990年代は老人ケアといえば北欧がモデルであったが、今、介護システムから施設・福祉用具・介護技術などの分野でも日本が世界に誇れるのではないだろうか。

こうしてあらためて振り返ると老健の果たしてきた役割・影響

は非常に大きい。

私達は先達の衣鉢を受け継ぎ、誇りと自信をもってこれからも歩んでいきたい。

ケアセンターやJNCC苑

企画支援部長 岩崎 勝敏

鹿児島県老人保健施設設立30周年おめでとうございます。30周年というおめでたい年なのですが、新型コロナウイルスにより、対応に苦慮されている事だと思えます。大隅ブロックでは、大隅半島の老健が集まり、定期的に情報交換をしております。都度、老健協会から色々な情報や助言等を頂き、それを各施設と情報共有を行い、必要に応じて協会へ多岐にわたりご相談等をさせて頂いております。各施設だけ解決できない諸問題を相談することで、問題解決へつながっております。

また、昨年は、コロナウイルスの対応について、各施設が色々な不安や問題点を抱えている中、県・各関係団体と協議対応して頂き、また色々な情報を頂くことで、不安を解消することが出来ました。今後、色々なサポートをして頂くと同時に、気軽に相談できる協会であって頂ければと思います。



も縮小や中止が相次ぎ寂しい限りです。早く入所者様とご家族様が参加出来る行事が再開出来ることを願うばかりです。

介護老人保健施設 虹の丘

施設ケアマネージャー・支援相談員 碓山 肇一

老健協会創設30周年おめでとうございます。

虹の丘では、開設当初、大規模な運動会を開催していました。体育館を借りて万国旗等で装飾し、入所者様をバスでピストン輸送。入場行進から始まり、パン食い競争、フォークダンス、応援合戦等多様な競技。職員もご家族様も総出で参加しました。昼食は、ご家族様が重箱いっぱい手作りしたお弁当をそれぞれ囲んで、笑い声に包まれた一日でした。

現在は、日々の介護や記録に追われ、更に働き方改革、職員不足、入所者様の重度化等によりこのような大規模な行事は難しく想像もつきませんが、入所者様、ご家族様、職員が共に一生懸命取り組むことで会話が生まれ、信頼も得られたように思います。

新型コロナウイルスの影響で、地域の行事も縮小や中止が相次ぎ寂しい限りです。早く入所者様とご家族様が参加出来る行事が再開出来ることを願うばかりです。

介護老人保健施設 わらび苑

施設長 池村 純一郎

これまで県老健協会として県内の老健施設をまとめること、また職員研修や広報活動等活発な活動を、本当にありがとうございます。

これからも県民の皆様の安心した生活のお手伝いができるように、各老健施設がそれぞれの地域に根差した施設を目指す中、県内の老健が今よりさらに一致協力できるようにご助力のほどよろしくお願いいたします。

現在は、日々の介護や記録に追われ、更に働き方改革、職員不足、入所者様の重度化等によりこのような大規模な行事は難しく想像もつきませんが、入所者様、ご家族様、職員が共に一生懸命取り組むことで会話が生まれ、信頼も得られたように思います。

介護老人保健施設 グリーンフォレストみかさ

事務長 前山 亨

鹿児島県老健協会創設30周年おめでとうございます。会員施設が各々の地域での医療・介護の中心を担うべく、協会の様々なご支援・ご指導に感謝申し上げます。

昨年頃から続くコロナ禍での事業運営は日々緊張が途切れることがありません。これまで以上に協会及び各施設間の連携・連帯を密に図ることが重要となります。

この危機を全ての会員施設が乗り越えることが出来る様、ご助力のほど宜しくお願いいたします。

コロナに打ち勝ち、老健大会等の以前同様の協会を中心とした様々な研修・啓蒙活動が再開できることを願います。

# 研く究める

よりよい介護を自らし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

## 褥瘡施設内発症1%未満を目指した 当施設の取り組みと報告

介護老人保健施設サンセリテのがた(大崎町) 介護福祉士 新穂 寿将  
共同研究者：理学療法士 内野 祐輔・看護師 藤田 さとみ

**【はじめに】**  
褥瘡予防・治療において担当する各専門職の知識・技術の向上と、専門性の活用が良好な結果をもたらすために重要であると考える。当施設では平成28年度より、施設内での褥瘡発症の予防、早期発見・早期治療を促進するため、多職種連携を主体とした活動を行ってきた。今回、施設全体で行ってきた取り組みについて報告する。

### 【当施設のこれまでの現状】

当施設における褥瘡発症者と発症率は平成26年に7人(0.57%)、平成27年に16人(1.38%)、平成28年に26人(2.39%)と年数を追うごとに増加する傾向を認めた。平成26年までは皮下組織の損傷または皮下組織を越える損傷を褥瘡としてカウントしていた

ため、褥瘡の治療が長引く結果が出ていた。そのため、早期発見・早期治療を図るため平成27年より褥瘡判断の基準をDESI GN・Rを用い、Depth(深さ)項目におけるd2・真皮までの損傷を褥瘡とカウントするように変更した。そのため、平成27年以降は発見件数が増加し、平成28年の褥瘡発症率は全国平均を上回る結果となった。当施設では「褥瘡の早期発見と予防」をスローガンに、「業務効率化を高める取り組み」、「現場での対策の変更・工夫」の具体策を提示し、褥瘡予防に努めた。

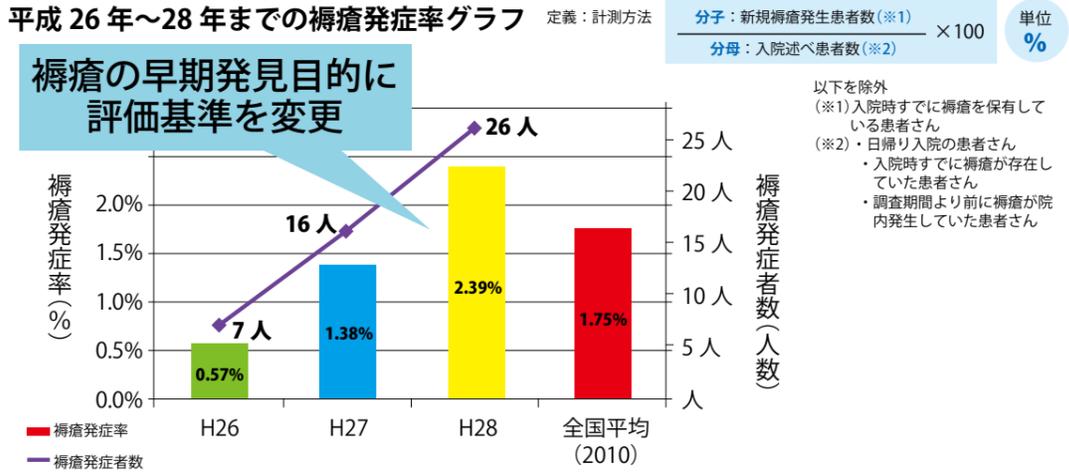
### 【対象・方法】

- 1 期間・対象 平成26年4月～平成31年3月までの褥瘡発症者と発症率及び延入所者
- 2 方法 褥瘡発症率算定方法

### 【取り組み】

- 当施設が実施した主な取り組みについて紹介する。  
(施設全体における業務効率化を高める取り組み)
- ① 情報共有方法の変更(皮膚状態の変化や褥瘡発生後、医師・看護師への連絡と同時に褥瘡委員会への情報提供)
  - ② マットレス管理を手書きからパソコン管理への変更
  - ③ 定例会での報告方法の変更、情報共有内容の具体化

を新規褥瘡発生利用者/入所延人数×100(単位%)として算出した。  
※入所時既に褥瘡を保有している利用者、短期入所利用者、調査期間より前に褥瘡が発生した利用者は除外した。



**【結果】**  
平成27年4月から平成31年3月までの褥瘡発症者と発症率は、平成26年に7人(0.57%)、平成27年に16人(1.38%)、平成28年に26人(2.39%)、平成29年14人(1.27%)、平成30年10人(0.93%)、平成31年8人(0.72%)と年々減少する結果が得られた。

### 【考察】

様々な取り組みによって発症率は平成29年以降全国平均を下回り、平成30年にはさらに低下して目標の発症率1%を下回った。これは平成28年より実施している活動により施設内褥瘡発症率が低くなり、職員の「予防への意識」が高くなったことが大きな要因と考える。意識が高くなることで褥瘡のリスク管理が可能となり、悪化予防のための対策を講ずることで、施設内褥瘡発症が減少に繋がったものと考えられる。

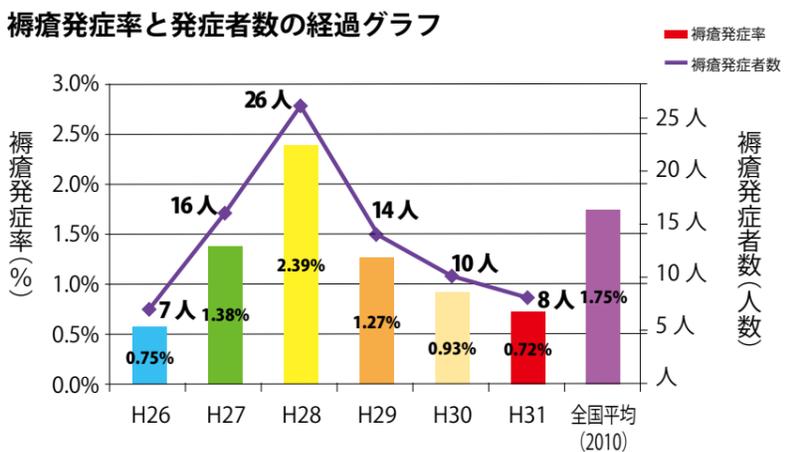
### 【まとめ】

世間の褥瘡への意識・関心が高くなっていることを自覚し、

- まとめ**  
**【情報共有】**  
①医師と同時に褥瘡・NST委員会へ報告  
②紙面上での管理からパソコン管理へ  
③アセスメントシートの改良  
**【現場の取り組み】**  
①マットレス交換をパソコンで管理  
②オムツ交換時の軟膏の塗布  
③尿取りパッドをじゃばら状にして使用  
④吸水性の高いオムツの使用  
⑤洗浄液をお茶から専用の洗浄液へ変更

を行ったことで、早期発見・早期対応が可能となり、褥瘡発症率を減少させることができた。

今後は入所スタッフだけでなく、在宅で支援する家族、スタッフとの連携、情報の共有がより重要であるため、法人全体としても新たな取り組みを図っていきたく考えている。  
令和1年度より当施設に歯科衛生士も褥瘡対策の一員として活動を行っている。褥瘡と口腔内環境の関連なども含め、更に褥瘡予防が図れないかを今後も検討・推進していき、より他職種連携による専門性を活かしつつ、施設内発症1%未満の目標を維持しながら利用者のQOL向上に努めて行きたい。



じゃばら状にしたオムツ



オムツ交換時の軟膏を塗布する様子

- ④ 看護師・栄養士の連携強化のため、褥瘡アセスメントシートの統一
  - (現場での対策の変化・工夫)
  - ① 褥瘡予防として陰部や仙骨部にオムツ交換時の軟膏塗布
  - ② 褥瘡発症者または発症の恐れのある利用者にはパッドの当て方の工夫
  - ③ 吸水性の高いオムツの使用
  - ④ 洗浄液をお茶から専用の洗浄液へ変更
- 右記8つの対策を行った。

# 通所リハとしての役割とは その人らしい生活を目指すために

ニューライフいすみ(出水市) 理学療法士 山元 博紀

## 【はじめに】

通所リハビリテーション(以下通所リハ)では、リハビリテーション(以下リハ)を実施するにあたり、心身機能や生活機能を把握し、ケアプランを基に効果的なサービスを提供できるようリハビリテーションプログラム(以下リハプログラム)を立案する。平成27年度から取り組んでいるリハビリテーションマネジメントは、SPDCAサイクルに沿って、心身機能・活動・参加全ての要素にバランス良く関わり、質の高いリハビリを提供するものである。今回、利用者はリハビリに何を要望しているのか、セラピストは利用者のニーズを把握した上でバランス良くリハビリを提供出来ているのか、アンケート調査を実施し今後の課題をまとめたので報告する。

## 【調査対象】

通所リハ利用の要介護者145名(平均年齢84・33±7・15歳、平均介護度1.9±1.11)  
通所リハセラピスト7名(P.T 4名、O.T2名、S.T1名)

## 【方法】

チェックシートを独自に作成し、複数選択回答可とした。実施期間は令和1年12月2日～12月7日。内容は、生活で困っていること・リハビリ目標等について。また利用者はどのようなリハビリをしたか、セラピストはリハビリに関わった145名に対し実施したリハプログラムをチェックする。

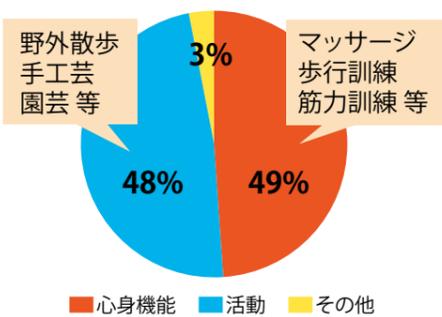
## 【結果】

配布145名に対し、回答は93名。(回収率64・1%)  
生活で困っていることは、痛いと

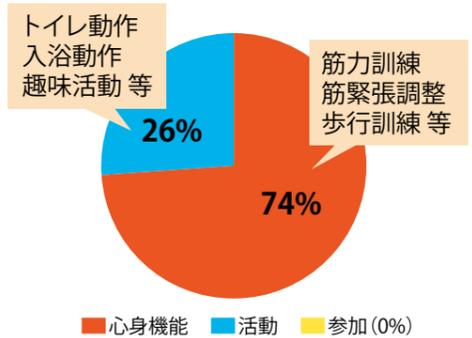
ころがある51%、物忘れ31%との回答が多かった。  
リハビリ目標は、屋外を安全に移動したい34%、屋内を安全に移動したい30%、痛みを緩和したい28%との回答が多かった。  
どのようなリハビリをしたかには、マッサージ、歩行訓練、筋力訓練等の心身機能面が49%、屋外散歩や手工芸、園芸等の活動面が26%であった。  
提供しているリハプログラムは、筋力訓練、筋緊張調整、歩行訓練等の心身機能面が74%、トイレ動作、入浴動作、趣味活動等の活動面が26%であった。



【結果】  
どんなリハビリをしたいか



セラピスト提供プログラム



## 【考察】

今回の調査により、利用者は心身機能面や活動面に対する目標や要望があったが、提供しているリハプログラムは活動と参加に対する提供が不十分であった。

要因として、在宅生活継続のため、心身機能、ADL維持や転倒予防の意識が働いていると考えられる。また利用者も「リハビリはベッドに寝てセラピストから受けるもの。」と考える方もおり、ベッド上でのリハビリを提供しなければ、満足度低下へ繋がってしまうという意識も働いていると考えられる。次に、利用者のやりたいこと、



## 【まとめ・課題】

利用者は心身機能面だけでなく、活動面に対する目標や要望を持つていることを知ることができた。また活動と参加への働きかけの重要性を理解していても、リハ内容としては心身機能面に偏っていることに気づかされた。

今後は、利用者のニーズを把握し、より具体的に達成可能な目標を立てることが重要である。そのためにはSPDCAサイクルのSurvey(調査)が重要になるが、興味・関心チェックシートの活用以外でも、生活歴や人生背景等の聴き取りを行い、それを把握

する事が重要で、通所スタッフに対しても、その重要性を理解してもらえらるよう働きかけていく必要がある。そうすることで、通所スタッフも活動と参加へ目が向き意識でき、普段から行っている園芸や手工芸などの集団活動の目的を再認識することで、利用者の目標に向けた、より効果的な集団活動へと繋がっていくと考える。

通所リハが利用者の目標に向けての取り組みになっているのか再確認し、心身機能・活動・参加の相互関係を意識しバランスの取れたアプローチを行うことで、その人らしい生活の実現に繋がっていくことが今後の課題である。

研く究める

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

こんなのをやってみたかった  
〜クラブ活動を通して 意欲向上に繋げる〜

介護老人保健施設アンダンテ伊集院（日置市） 介護福祉士 西岡 琴美  
介護福祉士 池田 美紀 介護士 榊 竜次

【はつめい】

2018年度介護報酬改定にともない、「在宅支援」機能を担う施設として当施設も業務改革が必須となった。当通所リハビリテーション（以下、通所リハビリ）では、「在宅支援機能」の観点からレクリエーションがもつ役割と効果について再検討する中で、デイケア利用時の目的や楽しみがレクリエーションであると考えた利用者から知ることが出来た。そこで利用者が満足しかつ在宅支援につながる活動は何か、また「してもらい」から利用者主体で「する」活動へ移行するために、全員参加型のレクリエーションとは別に、利用者のやりがいや楽しみに繋がる自己選択型のクラブ活動を導入した。通所リハビリは「心身機能」「活動」「参加」

それぞれの要素にバランスよく働きかけ、自分らしく生きがいや役割を持った生活を目標にした支援を求められている。そのため、業務改革の第一歩として、「自己選択型のクラブ活動」を提供することとし、活動が在宅生活支援や意欲向上に繋がった結果を報告する。なお写真掲載については利用者の同意を得ている。

【対象】

- ・対象者 通所利用者  
（男性25名 女性60名）
- ・クラブ活動期間

- ・2019年6月〜12月（6ヶ月）
- ・日単位活動：6月〜8月
- ・週単位活動：9月〜12月

【内容】

生活歴・興味関心チェックシート

- トから活動内容を選定し、以下6個のクラブ活動を利用者が決定した。
- ①園芸クラブ：苗や花を植え、育てた後収穫する。
- ②手芸クラブ：編み物や針作業で作品を作る。
- ③音楽クラブ：カラオケや音楽鑑賞、楽器演奏を行なう。
- ④芸術クラブ：オリジナル作品を作る。
- ⑤運動クラブ：散歩、体操で身体を動かす。
- ⑥料理クラブ：献立を作成し、実際に料理を作る。



園芸クラブ：キュウリ収穫、いい笑顔



園芸クラブ：サツマイモの苗植え



手芸クラブ：コースター作成



手芸クラブ：干支のぬいぐるみ作成



料理クラブ：どら焼きに挑戦中！



料理クラブ：収穫した芋でおやつ作り（芋餅）



園芸クラブ：大きいブロッコリー、収穫



園芸クラブ：立派な大根が出来ました

【結果】

利用者が自己選択、決定することと得意なこと、やってみたくことを知ることができ、余暇時間の自主的活動が増加した。しかし男性利用者の参加が少ないことや活動時間が短く、手芸や芸術などの作品を1日で作り終わらないなどの不満の声もあったため、週単位での活動へ変更した。高次脳機能障害を持つA氏は利用当初の5月、「レクリエーションには絶対参加しない、他利用者との交流はしたくない」との発言が聞かれたが、クラブ活動の手芸に興味があり参加されるようになった。その後、毎回クラブ活動に参加され、一緒に参加される他利用者とも笑顔で会話されるようになった。また、クラブ活動で完成しなかったモノを持ち帰り自宅で完成させたり、料理クラブで学んだレシピを自宅で実際に作ってみたりと在宅支援、活動へ繋がっている。

【考察】

集団レクリエーションは、テーマの選定や実施内容が利用者主体になりにくく、活動にバラツキがみられたが、クラブ活動は自己選

択型のため、利用者が「したい」「やりたい」と感じたことに取り組み、自分のペースで活動することができ、クラブ活動を通して利用者1人1人の興味があることを知る事ができ、自分らしく生きがいや役割を持った生活に繋がると考える。また「してもらい」から「する」活動に変えたことで利用者からも「こんなのをやってみたかった」と笑顔で話されることが増えてきた。今はまだスタッフでクラブ内容を提供しているが、将来的には利用者が自らクラブ内容を決定し、「今日はこれをしよう」と進んで「参加」できる支援を行い、今後もクラブ活動を継続していきたい。



研く究める

よりよい介護を自らし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

# 先生これからもよろしくお願ひします 100歳入所者と家族の「想ひ」を叶えた看取り

介護老人保健施設寿芳苑(湧水町) 介護福祉士 南 千代子  
共同研究者 看護師 牛野 千恵子・ケアマネージャー 山元 スズエ

## 【経過】

当施設では100歳前後の利用者が増え、終末期の医療についての事前調査では「自然な形で看取りたい」「慣れた施設で馴染みの入所者や職員に囲まれて最期を迎えさせたい」というご家族の要望があった。今回100歳の利用者と娘様の「想ひ」に添った看取りを支援した事例を報告する。

## 【事例紹介】

A様 100歳 女性  
要介護度4  
主病名：老年期認知症・うつ血  
性心不全  
ADL：食事・排泄・移乗・整容  
Ⅱ介助  
車椅子Ⅱ自走可能  
入浴Ⅱ全介助

## 【経過とそれぞれの想ひ】

左大腿骨転子部骨折術後再入所。A様は日頃から「100歳になつたら総理大臣の名前が入つた賞状をもらつて、皆さんに祝わつてもらいたい」と言われていた。娘様はいつお迎えが来てもおかしくないと受容されており、「好みの服を着せたい」「好きな物を食べさせたい」「母と娘の時間を大切にしたい」という想ひがあった。A様は心疾患があるため減塩食になつていたが娘様は焼き餃子や焼き飯等、A様の好物を差し入れしていた。しかし、A様の食事は減っていた。

5月5日は娘、孫、ひ孫様と外出し、一足早い百寿祝ひがあり「久しぶりに孫やひ孫と楽しい時間を過ごす事が出来た」と感想を言われた。

5月14日、満100歳の誕生日に合わせB市より表彰状や記念品授与式が行われた。当施設でも百歳祝ひが盛大に行われた。「皆さんと仲良く暮らしている間に100歳になりました。先生これからもよろしくお願ひします」と、しっかりと口調でお礼の言葉があった。

6月になると定期採血の結果、肝機能に異常が見つかり、専門医受診する。医師より「黄疸や腹水貯留が出現すると、そう長くないでしょう」と説明があったが、娘様は積極的な治療の希望はなく、今後も施設での生活を選択された。

7月には食事はさらに減少し、筋力低下も進行してきたが、気分や活動にはほとんど変化はなかった。

8月になると食事は殆ど取れなくなり疲労感があり下肢や腹部には浮腫が出現した。この頃より娘様は、週1回面会に来られるようになった。

娘様は4人兄妹であったが、娘様が生まれた時にはすでに3人の兄は亡くなり、一人っ子として育ち、A様が在宅では生活できなくなると、娘様宅へ引っ越し、在宅病院、施設で生活された。娘様には二人子供いるが遠方のうえ、子育て中ということで、娘様は一人でA様を支えることになった。

## 【目的】

経過や娘様の背景を踏まえた目的として9月に行われる百歳高齢者表彰状を自ら受け取る事ができる。母娘様が残された時間を親子水入らず穏やかに過ごせる。娘様が最期の時まで余力を残し看取りが出来るよう、娘様に寄り添う。

## 【結果】

100歳高齢者表彰式当日、A様は体調が悪く出席することは叶わなかった。しかし、代わりに娘様が受賞され、A様は孫様と一緒に授賞式の様子を動画でご覧にな

り、受賞を喜ばれた。娘様がA様に付き添いながら傍らで休めるような長いソファを準備し、訪室時には娘様の体調の確認や心配事などを気軽に話せる雰囲気づくりに努めた。娘様は7日間泊まり込み臨終まで寄り添うことが出来た。

## 【まとめ】

娘様はA様をなじみの施設で看取ると決断されたが、娘様は70歳代になり、身体的、精神的にも負担は大きかったと思われる。私たちは娘様の想ひに沿い、いろんな角度からサポートした。娘様は臨終の際「お母さん立派でした、ありがとうございます」とねぎらいの言葉と

共に抱擁された。「淋しいけど、お母さんの好きな施設で最期を迎えることが出来てよかった」と話をされた。事前に臨終後の服装について意向を確認した際、「母らしい服装にしたい」と希望があったが、事前に娘様とコーディネートし準備を行い、亡くなられた後の一連の流れも粛々と進めることが出来た。この事例では「想ひに沿った看取りが出来た」「生涯の終わり方の選択肢となった」などの結果を得ることができた。今後も施設で看取りを希望されるご家族の「想ひ」を受け止め、残された時間を心穏やかに過ごし看取りの時を迎えることができるよう支援したい。



## 協会だより 令和2年9月～

- 第6回県新型コロナウイルス感染症に係る対策会議  
開催日：令和2年9月9日(水)18:30~20:00  
場所：県庁18階 特別会議室
- 令和2年度第3回理事会  
開催日：令和3年3月4日(木)17:00~(予定)  
場所：鹿児島県医師会2階 会議室
- 令和2年度第1回事務長部会研修会  
開催日：令和3年3月23日(火)14:30~16:30(予定)  
場所：鹿児島県医師会館3階 中ホール1  
テーマ：「令和3年度介護報酬改定について(仮題)」  
講師：村上 佳子 先生
- 令和2年度第2回臨時会員総会  
開催日：令和3年3月23日(火)17:00~(予定)  
場所：鹿児島県医師会館3階 中ホール1
- 令和2年度第1回かごしま外国人受入活躍推進会議  
並びに地域外国人受入れ・定着モデル事業(厚生労働省)地域連絡会議  
開催日：令和2年11月11日(水)13:00~15:30  
場所：サンロイヤルホテル 太陽の間
- 第8回県新型コロナウイルス感染症に係る対策本部会議  
開催日：令和2年12月16日(水)18:30~(予定)  
場所：県庁6階 大会議室
- 令和2年度第1回PT・OT・ST部会(Zoomによる講演会)  
開催日：令和2年10月28日(水)  
テーマ：「今の僕が再び老健で働くとしたら」  
講師：有村 宣彦先生 福祉生活協同組合むぎのめ 常任理事(理学療法士)  
参加者：57名
- 令和2年度第1回かごしま外国人受入活躍推進会議  
並びに地域外国人受入れ・定着モデル事業(厚生労働省)地域連絡会議  
開催日：令和2年11月11日(水)13:00~15:30  
場所：サンロイヤルホテル 太陽の間
- 第31回全国介護老人保健施設大会 宮城(中止)
- 第32回全国介護老人保健施設協会 in 岐阜(中止)  
テーマ：未定  
開催日：令和3年11月17日(水)~19日(金)  
場所：長良川国際会議場・岐阜都ホテル・岐阜メモリアルセンター等
- 第21回九州ブロック介護老人保健施設大会 in 佐賀  
テーマ：がばいよか老健~令和時代の在り方とは~  
開催日：令和3年10月21日(木)~22日(金)  
場所：佐賀市文化会館

(※)本号編集時点の情報です。やむを得ず変更する場合があります。詳細が確定次第あらためてファックスで会員施設へご案内します。

予後予測を多角的側面から考察していくことが重要であるとともに、ご利用者様・ご家族様への関わり方についても再考していく必要があると感じます。加えて、他職種との連携においても専門職だからこそ出来る情報提供を生活場面の細かい部分に視点を当て、よりよいサービスの提供へ繋げていけるよう精進して参りたいと考えます。

お忙しい中、ご講演頂いた有村先生をはじめ、ご準備いただきました関係者のみなさま、ありがとうございました。

- ・今回、このような形の研修は初めて参加させていただきましたが、操作方法もわかりやすく、他の施設のご意見等も確認する事ができ、今後、自分がどのような取り組みをしていく必要があるか、考える事が出来ました。ありがとうございました。

#### ○今後の研修会で取り上げてほしいテーマ、講師の先生

- ・きいれ浜田クリニック院長 濱田努先生 “いのちの授業” とか
- ・土井PT、宮PT、岩森PT、“連携”系 “生活環境”系
- ・社会医療法人社団熊本丸田会 熊本リハビリテーション病院リハビリテーション科 吉村芳弘先生
- ・“通所リハビリ”又は“在宅サービス”などのテーマで利用者の生活支援の方法を具体的に教えてもらいたい。
- ・老健での重介護者に対する取り組みについて
- ・介護予防分野
- ・マネジメント系

以上

今回のテーマである「今の僕が再び老健で働くとしたら」は PT・OT・ST 以外の専門職の方々にも是非、聴講していただきたい内容でした。

対象者が退所後、どのような生活を送り、どのように過ごされるのか “予後予測を明確にすることの大切” さや “他職種連携” 等、改めて「老健のリハビリテーション」の面白さ、可能性を感じることができました。

講師をご快諾していただきました有村先生、司会を担当してくださいました内村先生、老健協会の下鶴様、櫻木様、MIC様、ありがとうございました。

鹿児島県老健施設のセラピストのみなさま、新型コロナウイルスによる影響で大変な状況ではございますが、益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。チェスト!!

(PT・OT・ST 部会研修班 介護老人保健施設あじさい苑 作業療法士 内山 香織)



## 令和2年度 研修会

### 第1回PT・OT・ST部会研修(オンライン研修会)

日時：令和2年10月28日(水) 14:00~16:00

会場：鹿児島医師会館 3階老健協会事務局

参加者：57名

#### テーマ

### 「今の僕が再び老健で働くとしたら」

講師：有村 宣彦 先生(福祉生活協同組合むぎのめ 常任理事)

コロナ禍で研修の形も変わっていく中、初めてのオンライン研修会を企画し、無事終えることができました。今回のオンライン研修会でのアンケートを以下にまとめましたので、みなさまと共有できればと思います。また、今回の研修班としての反省点では、オンライン形式のため、アンケートの提出率が低かったこと、Zoomでの実施により、参加されたみなさまの反応が少しわかりづらかったとの意見もありましたので合わせてご報告させていただきます。

#### 【アンケート結果】

##### ○本日のオンライン研修会についての意見・感想ほか

- ・地域貢献活動の取り組みとして、実際にご自宅を開放して取り組んでいたり、年代問わず地域として一体となっていて行っているところが興味を持ちました。
- ・各施設で参加できるため、参加しやすく、オンライン研修の良さがありました。実体験を交えての研修であったため、聞きやすく、分かる点が多くありました。
- ・施設内で参加でき、良かったと思います。また、実際自分の体験を交えてのお話でもあり大変な事や、良かった事、工夫されている事などを聴くことができ、御家族様の気持ちに寄り添った、言葉かけなどできるのではないかと、今後の参考になりました。
- ・地域での活動について具体的な内容であったため非常に分かりやすく、自治会単位で行えることも沢山あり、今後の参考にさせていただきたいと思った。
- ・地域での活動や予後を考えてうでのリハビリ等興味深く、大変勉強になりました。
- ・日時が合わずに会場に行けない事があるが、オンライン研修会で職場で参加できるので良かった。オンライン研修会により参加できる機会が増えると思う。リラックスして参加できるのも良かった。
- ・スライドが具体的であり、先生が説明される場所に書き込みをされたり分かりやすかったです。今後取り組みそうなことも提示して下さったりやってみようという思いになりました。オンラインでの研修の方が講師との距離が近く感じられ、質問もしやすかったです。
- ・大勢の中の1人ではなく1対1で講義を受けているようで集中できた。
- ・現場では質問しにくいオンラインだと質問しやすかった。
- ・リラックスして受けることができた。
- ・リハビリ部門だけでなく、多職種と一緒に聴講したい内容でした。
- ・明日から意識を変えて仕事に取り組みます。
- ・地域貢献が理解できたような気がします。
- ・参加できなかったスタッフにも内容を伝え、共有したいと思います。
- ・貴重なご講演、ありがとうございました。  
老健施設に努める者として、地域リハビリテーションについて改めて考える機会を頂ける内容でした。

# こぼれおちた ものもの

26

三角みづ紀



夫婦そろって慌ただしい秋を過ごしたので、息抜きのために二泊三日でおでかけをした。札幌から南西の方向に車で片道二時間。北海道は広い。数時間の移動だけで、はじめての場所へ行ける。

ニセコという土地に好きな宿がある。ちつともお洒落じやなくて、山奥だからインターネットはつながりにくい。そして各部屋に温泉がついている。疲れた身体を休めるには最適だ。この旅行では何もしない、と決めた。

しかし、何もしないって容易ではない。だいたい先の締め切りも気になってしまおうし、下山するたびに、仕事の連絡がきているのではないかと何度も確認していた。

## 「何もしない」の難しさ



でも、それらを実行するのが、こんなにむずかしいとは思わなかった。せつかな性格だ。それゆえ、

先へ先へ進もうとする。進みすぎてしまう。おまけに心配性でもある。結局は二泊三日のあいだに、みつつのエッセイを書き上げた。

朝食と夕食は、隣のスーパーマーケットであらかじめ調達し、昼食は牧場にあるお野菜たっぷりのレストランへ行く。お気に入りの雑貨屋さんへも立ち寄り、白樺でつくられた鈴を買って求める。これも、前もって計画していた出来事だ。何もしないって、どういうありさまなのかわからなくなった。

二日目の昼食のあとに宿へ帰ろうとしたら、曲がり角を見失って行き過ぎてしまい、中腹をこえて山頂あたりまで行ってしまった。秋の風景のなかで、白樺の木々が主張している。骨みたいな幹と枝はしなっていて、生きているのだと語りかけてきた。

ちょっととした迷子の時間。わたしは迷子になるのが好きだし、予期せず目的地ではないところに向きつき、山の命を垣間みた事実に感謝した。生命にあふれた光景って、絵画のよう。きれいだね、とわたしが言う。ピカソの絵みたい、と夫が言う。

部屋に戻って五回目の入湯をしていたら、浴室のちいさな照明がお湯にうつりこみ、てのひらに乗せてみた。乳白色の液体の表面で揺れるものは、月に見えた。わたしは月をつかまえたのだ。そう考えながらも、右手の光をどうすれば良いかわからなくなって、放つ

た。その一連の行動が、ひどくわがごとく感じて、恥ずかしくなった。静まりかえった深夜に、鞆からノートとペンを取り出し、エッセイを書く。何もしないって、どうも苦手らしい。諦めたわたしは夫の寝息を聞きながら、この数日を忘れないために、したためる。

「裸の木」  
皮膚を剥きだしにしたしろい木々は 本当は立っているだけでなく山の一部を担っているまもなく冬がくるから生きるために息をしておのずと沈黙している

ふと、仕事と労働はちがうという言葉を想起した。仕事は生活を保つために働く行為で、労働は生きるための行為だと。わたしがいかなる状況でも綴るのは、生きるためなのかもしれない。これを書き上げたら、また温泉にはいろいろ。冬の手前の出来事だった。

三角みづ紀(みすみ・みつき) 1981年鹿児島市生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に現代詩手帖賞。第1詩集で中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。著書多数。執筆のほか朗読活動も精力的に行い国内外の詩祭に招致される。近年は美術作品として詩を制作する等、あらゆる表現を現代詩として発信している。第22回(平成26年度)秋原朔太郎賞受賞。

### 日本遺産

## 薩摩の武士が生まれた町⑥ 鹿児島市 喜入旧麓

鶴丸城御楼門が再建された県黎明館では、昨年の秋に「鹿児島の城館」という企画特別展が開催された。「外城」にあった麓は地域を守っているが、同時に藩の中央にある「内城」の本城鹿児島城も守っている。鹿児島城跡も日本遺産の構成文化財である。

江戸時代の薩摩藩では、「外城(とじょう)」という地方支配の拠点を各地に設置していた。そこには地域の行政や警護を担う武士の住居と陣地を兼ねた町があり、現在の市町村に当たる外城の中心地区が「麓(ふもと)」と呼ばれていた。藩内には一〇〇以上存在したといわれている。

さて、今回は鹿児島市の「喜入旧麓」を紹介したい。  
喜入郷は鹿児島藩の近世外城の一つであり、中世は給黎院と称され、戦国時代初めに喜入氏領となった。文禄四年(一五九五)喜入氏が永吉(日置市吹上町)に移封され、新たに大隅国加治木を知行していた肝付氏が入部してきた。藩政初期の喜入は、上之村(上村

・上名)と下之村(下村・下名の二カ村)からなる。寛永年間末頃に上之村の北部が瀬々串、南部が中名として、天和元年(一六八二)には下之村の北部が前之浜、南部が生見として分村した。享保十九年(一七三四)中名村から宮坂村が分村し、各村に庄屋が置かれたという。

領主飯屋は当初上之村の給黎城南麓に置かれたが、承応二年(一六五三)琵琶山の山麓(現喜入小学校の敷地)に移されたという。なお前者に旧麓(もとふもと)、後者に麓の地名が残る。旧麓にはそのまま残った郷士たちもいたようである。  
当郷の宗廟は三百余社大明神といわれる。同社は正一位三百余社大明神社とも呼ばれ、慶応四年(一八六八)に改称して現在大字喜入に鎮座する宮坂神社となっている。  
自然や伝統的文化が一体となった町並みを後世に伝える景観づくりを進めるため、平成三〇年三月一日、喜入旧麓地区は鹿児島市の景観形成重点地区に指定され、現地には案内看板が設置された。

### 《喜入旧麓の構成文化財》

喜入旧麓  
東京大学史料編纂所が所蔵する喜入郷麓(あし)絵図には、江戸時代の喜入麓が詳細に描かれている。  
図中には領主飯屋・八幡神社・弓場地・人居・旧町・愛宕社・愛宕川の名称が目を引く。

旧麓の古城山山麓に菩提所の玉繁寺・天神・若宮・心慶寺・十一面・傑心寺・清涼院・諏訪宮などの施設が表記され、当時の麓の様子を偲ばせてくれる。  
給黎城跡  
喜入支所から南へ2kmほどの山中にあり、東は八幡川に臨み、北は水田に接し、他の面は丘に連なった山城である。給黎城は、北之城、本城南之城の三地区からなる。本城曲輪群には、土塁や空堀が残り、馬乗り馬場の伝承がある。

肝付家歴代墓地  
山の斜面を利用して五段に造成された上級武士としては大規模な墓地である。幕末維新に活躍した小松帯刀の両親の墓もある。  
南方神社  
給黎城跡南麓に南方神社がある。蒲生宣清が創建し、喜入季久が再建したといわれている。ここは「かごしま自然百選」に選ばれている。



喜入肝付家歴代墓地



牧瀬家武家門

香梅ヶ淵(こべがふち)  
侍女香梅が身を投げたという悲話  
が伝承されている。

【アクセス】鹿児島市中心部から車で約30分。喜入支所より南南西に八幡川左岸の市道を約2kmほど。  
(始良市歴史民俗資料館長 下鶴 弘)



新城の海岸



新城島津家の領主館跡

鹿児島神社

八坂神社

手湯看板

みささぎ

林之城跡



海潟地区からの桜島



中浜地蔵

# ぶらぶらが素敵 かごしま

vol.2

東川隆太郎

NPO法人まちづくり地域フォーラム  
かごしま探検の会代表理事



南北600キロに及ぶ鹿児島県。気候や風土、文化に歴史にもそれぞれの地域に特徴があり、県内をめぐるだけでも相当な発見があります。そのような鹿児島県の意外な魅力を様々な角度から訪ねてみる連載です。

## 垂水市・海岸沿いの魅力 再発見

垂水市は南北に長い。北の牛根地区は霧島市福山に接し、南の新城地区は鹿屋市古江に接している。その鹿児島湾沿いを北から南にぶらぶらすると垂水市の魅力と触れ合うことができる。ということで、まずは牛根地区の意外な場所から始めてみよう。

中浜集落には大切に守られている地蔵がある。国道から少し山手に入った道沿いにあり、木製の座像、文安元(1444)年作とある古い地蔵である。素朴なお堂の中に安置されていて、地域の村山家が所有しているという。次は、江戸時代の牛根郷の中心であった麓にある「みささぎ」と呼ばれる場所。伝説では源平合戦の最後となる壇ノ浦の戦いから逃れて来た安徳天皇が最後にこの地を訪れ、当地で亡くなったとされている。「みささぎ」は安徳天皇の墓とされ、江戸後期には島津重豪が参拝し灯籠を奉納している。

南に進んで桜島と海、さらに眼前に広がる畑の組み合わせが美しい海潟地区。大隅半島では珍しい温泉街として知られる海潟地区は、戦国期に摂関家の近衛信輔が立ち寄った地でもある。それにちなんで港に隣接する公園には、足湯ならぬ手湯が設置されていて、文化人であった近衛信輔にちなんで「近衛の湯」として温泉水に触れることができる。

垂水小学校周辺は、江戸時代には垂水郷の武士が居住する麓が成立した。現在も武家門や町割りなどが当時の様子を伝え、小学校には垂水島津家の領主館であった林之城跡を示す案内柱が設置されている。名前の如く、かつては小学校周辺には木々が林のように繁茂していたという。その武家屋敷群に隣接するように商業地である本町があり、商人らによって信仰されてきた八坂神社が現在もある。その南には鹿児島神社があつてヒコホデミノミコトなどが祭られ、鹿児島大明神や下宮神社とも呼ばれていた。

最後にさらに南下した新城地区は、江戸時代には新城郷と呼ばれ、新城島津家の領地であった。その領主館が国道からひとつ山手の道沿いに残されている。新城の海岸はシラスこと入戸火砕流と基盤の阿多火砕流の溶結凝灰岩の浸食が美しい。見どころ満載の垂水市の海岸沿いである。

(ひがしかわ・りゅうたろう) 1972年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学理学部地学科卒業。自他共に認める「まち歩き」のプロ。ガイドや講演会活動を通じて鹿児島の魅力を伝える活動を行っている。

# ろうけん広場



## マスクの山

色とりどりの布マスクの山。お店でかわいいマスクを見かけると、つい買ってしまい、気づくとコレクション状態になってしまったそう。「おしゃれな女性はマスクにも手を抜かないのよ!」。



## 勝つまで



鹿児島市内のとんかつ屋さんの張り紙。「テイクアウト 10% off」は「人類がコロナにかつ日まで」やります。トンカツ屋さんならではのじゃれに思わずニヤリ。コロナに負けない!

## 志の駅



JR日南線の終着駅の志布志駅(志布志市志布志町志布志)。志あふれる街にある駅舎のトイレにあったのは「男子」ではなく「男志」ののれん。終着駅でなく「志(こころざし)の始発駅」を売り込もうとの狙いがあるそう。女子トイレも「女志」です。

## ふぞろいの...



鹿児島市納屋通りの八百屋に大根が陳列されていました。形も大きさもバラバラで、ちょっと色っぽく見えたのは私だけ...?

## 県外ナンバーは大変



コロナ禍で県境越えの移動制限がされていたころ、鹿児島市内で見かけた乗用車。ナンバープレートの横の「鹿児島在住デス」と手書き文字に、県外から新型コロナウイルスを持ち込む懸念を払拭しようとする苦勞を感じました。

## 皆様のお便りをお待ちしております。

「ろうけん広場」欄の投稿を募ります。テーマは特に設けません。ふだん思っていること、身辺雑記、エピソードなどファクス、メールでお寄せ下さい。写真は家族や仲間、ペット、風景など簡単なコメントを添えて。メール添付、または郵送をお願いします。ファクスは、099 (206) 1075=鹿児島県老人保健施設協会事務局。メールアドレスは、k-roken@po.minc.ne.jpです。



廃止になった伊敷線、上町線の系統図



電車が出入りする市交通局



高麗町にあった交通局のジオラマ



鹿児島市交通局の歴史などを知ることができる資料展示室



展示室からは桜島をバックに車両基地が見渡せる

## 鹿児島市交通局資料展示室 (鹿児島市上荒田町)

車は、鹿児島にとり、宝物の一つだろう。この電車や交通局の歴史を知ることができるところが、鹿児島市上荒田町の市交通局の局舎3階にある「資料展示室」だ。同局は2015年5月に高麗町から移転、老朽化した旧施設と違い近代的な建物になった。展示室は約76平方メートルの一室だが、大正から歴史を刻んできた交通局を紹介する「交通局博物館」と言えるかもしれない。市民の足である市電、市バスの誕生や戦中戦後の歩みなど知ることができる。

このほか、降車ベルのボタンや年代物の両替機、改札ばさみや車掌カバンなど多くの実物も見られる。フロアから外を眺めると、現役の電車たちが桜島をバックに出番を待ち、路面電車ファンの心をくすぐる。展示室の開館時間は月々金曜午前9時半〜午後4時半。2階受付台帳に記入して3階へ。入場無料。

(編集委員 米森)

## 市民の足の魅力いっぱい

NHKの大河ドラマ「篤姫」で鹿児島に注目が集まったころ、放送作家で随筆家の永六輔さんがラジオで「篤姫ではない、より誇れるものが鹿児島にはある」と話していた。何のことかと聞き耳を立てていると、鹿児島市電の軌道敷の緑化のことだった。

路面電車が鹿児島市に誕生したのは大正元(1912)年で全国28番目。民営会社「武之橋―谷山間6・4」を木造7両で営業を開始した。市交通局の旧施設の150分の1サイズのジオラマはひととき見学者たちの目を引く。往時の局舎や車両基地を再現したもので、その精密さに感心させられる。

## ふろく「フォーカス」

## ④ 簡単

10秒で装着完了、操作も習熟いらず。リュックサックのように背負ってベルトを締めるだけで装着完了。難しい操作がないのでどなたでもお使いいただけます。

## ⑤ 防水・防塵

屋外や水回りでの作業も問題なし。電気を使わないシンプルな構造なので装着したまま屋外や水回りでの使用も問題ありません。水やほこりに強く人に優しい構造です。カバーは取り外して洗濯機で水洗い可能です。

## マッスルスーツは2タイプ

マッスルスーツには、太ももとパッドの間にゆとりがある「ソフトフィット」と、パッドが太ももに密着する「タイトフィット」があります。

ソフトフィットタイプは、歩きやすく圧迫感が少ないことから、装着したまま長時間作業することが多い製造業・物流・建設業などの重いものを持ち運ぶ現場で使われています。

タイトフィットタイプは、少しかがんだ状態から補助力が働き、しっかりホールドされますので、あまり移動がなくその場で中腰を維持して作業するシーンで使われます。

このような商品特徴から、介護現場での移乗介助・おむつ交換・清拭・入浴介助などにはタイトフィットタイプが適していると思います。

## マッスルスーツ入手について

マッスルスーツの価格は、ソフトフィットタイプ・タイトフィットタイプ共に消費税込み149,600円となっております。決して安い価格ではありませんが、職場定着支援助成金、新型コロナウイルス対策補助金、エイジフレンドリー補助金、介護ロボット導入支援事業費補助金など、様々な助成事業の対象品となっております。

(都道府県によって対象外になる場合もあります)

また、メーカーによる金利・手数料0円の分割払いやレンタルシステムなどもあります。

もちろんカクイックスウィングでも取り扱いしておりますので、「詳しい説明を聞きたい」、「現物を見てみたい」、「試しに使ってみたい」などのご要望がありましたら、弊社の営業担当者まで声掛け願います。

株式会社 イノフィス公式 HP

<https://musclesuit.co.jp/>

\*写真及び本文、株式会社イノフィスHPより引用



## 介護用品 あれこれ

## 推奨福祉用具のご紹介

～装着型腰痛予防用品「マッスルスーツエブリィ」のご紹介～

(株)カクイックスウィング 作業療法士、福祉用具プランナー管理指導者 湯脇 稔

## はじめに

前回はベッドの機能を利用して自立した離床を支援するフランスベッドの「マルチポジションベッド」を紹介させていただきました。

今回はテレビ等の紹介で有名になりました装着型腰痛予防グッズの「マッスルスーツエブリィ」を紹介させていただきます。

## マッスルスーツエブリィとは

働く現場での腰への負担軽減から、日常のちょっとした力仕事のサポートまで、マッスルスーツエブリィはすべての人の健やかなライフスタイルを実現するために生まれたアシストスーツです。

BACK



FRONT



SIDE



## マッスルスーツエブリィの特徴

## ① パワフル

最大補助力 25.5kgf で動作をアシスト。空気圧を利用した人工筋肉だから、使う人の動きに合わせて簡単に調整できます。

## ② 省エネ

電気不使用だから稼働時間に制限なし。付属のポンプで空気を送り込むだけで動作可能に、だからいつでも・どこでも・時間の制限なく・かんたん。補助力が弱くなった時は追加で空気を注入するだけです。

## ③ 軽量

本体重量 3.8kg。強いアシスト力を実現しながら、女性や高齢者、体力に自信のない方でも使用できるように設計されています。

**⑫アンダンテ伊集院**  
 〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺3-1303-10  
 ☎099-272-5181 FAX 099-272-5999

湯田内科病院  
 ケアセンターリエゾン日置  
 (居宅介護支援事業・訪問介護事業)

**⑬ラ・フォンテいずみ**  
 〒899-0214 出水市五万石町281  
 ☎0996-62-7005 FAX 0996-62-7008

しもそのクリニック  
 ラ・フォンテいずみ居宅介護支援事業所

**⑭グリーンフォレストみかさ**  
 〒899-1131 阿久根市脇本字柞木迫6313-1  
 ☎0996-75-3222 FAX 0996-75-3238

黒木胃腸科外科医院  
 グリーンフォレストみかさ訪問看護ステーション  
 阿久根市在宅介護支援センターみかさ

**⑮ライフハーバーいちき**  
 〒899-2103 いちき串木野市大里2901-2  
 ☎0996-36-5353 FAX 0996-36-5352

丸田病院  
 吹上園・市来松寿園  
 市来町在宅介護支援センター

**⑯グレースホーム**  
 〒895-1106 薩摩川内市東郷町芥洲8920番地  
 ☎0996-21-6311 FAX 0996-21-6313

上村病院  
 グレースホーム訪問看護ステーション  
 グレースホーム居宅介護支援事業所

**⑰ゆくさ白浜**  
 〒896-0064 いちき串木野市羽島265-15  
 ☎0996-35-0800 FAX 0996-31-0070

えんでん内科クリニック  
 (居宅介護支援事業・訪問介護事業)  
 グループホームもせ

**鹿児島地区**

**①城山老健**  
 〒890-0014 鹿児島市草牟田1-4-10  
 ☎099-225-3582 FAX 099-224-4096

植村病院  
 ケアハウス出合い坂  
 居宅介護支援・訪問介護センター草牟田出合い坂

**②スイートケアなかよし**  
 〒890-0005 鹿児島市下伊敷1-1-5  
 ☎099-223-3390 FAX 099-222-6541

玉水会病院  
 いしぎ訪問看護ステーション

**③城西ナーシングホーム**  
 〒890-0046 鹿児島市西田1-16-1  
 ☎099-258-9180 FAX 099-257-5712

土橋病院  
 居宅支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)  
 デイサービスセンター ケアガーデン西田

**③ニューライフいずみ**  
 〒899-0217 出水市平和町336-1  
 ☎0996-63-8000 FAX 0996-63-3161

吉井中央病院  
 ユニット型老健グランアージュ  
 鶴寿園(特別養護老人ホーム)

**④長生園ナーシングセンター**  
 〒895-0076 薩摩川内市大小路町51-3  
 ☎0996-22-1121 FAX 0996-22-1120

永井病院  
 在宅介護支援センター 長生園  
 グループホーム 自立の家

**⑤回生苑**  
 〒899-1611 阿久根市赤瀬川1551  
 ☎0996-72-1661 FAX 0996-73-3788

内山病院  
 阿久根市在宅介護支援センター  
 桜ヶ丘荘(特別養護老人ホーム)

**⑥さるびあ苑**  
 〒896-0002 いちき串木野市春日町63  
 ☎0996-32-8841 FAX 0996-32-8873

宮之原循環器内科  
 串木野市在宅介護支援センター  
 慈正会居宅介護支援事業所

**⑦シルバーセンター光の里**  
 〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6  
 ☎099-273-5600 FAX 099-273-5700

ゆのもと記念病院  
 グループホーム あったかハウス  
 訪問看護ゆの里・訪問介護ふる里

**⑧グリーンライフ川内**  
 〒895-0065 薩摩川内市宮内町磯田2633  
 ☎0996-20-2500 FAX 0996-20-2570

今村クリニック(整形外科)  
 薩摩川内市在宅介護支援センター  
 薩摩川内市ホームヘルパー事業(老人と障害者)

**⑨パラディーノほたるの里**  
 〒895-2104 薩摩郡さつま町柏原493-5  
 ☎0996-53-1010 FAX 0996-53-1007

立志病院  
 鶴田町在宅介護支援センター  
 居宅介護支援事業所 パラディーノほたるの里

**⑩グラン・ベリテひわき**  
 〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2995  
 ☎0996-38-2500 FAX 0996-38-2600

市比野記念病院  
 翠泉苑(特別養護老人ホーム)  
 指月苑(養護老人ホーム)

**⑪湯の浦ナーシングホーム**  
 〒899-3303 日置市吹上町湯之浦1353  
 ☎099-296-5411 FAX 099-296-5422

外科 馬場病院  
 居宅介護支援事業所  
 (湯の浦ナーシングホーム・馬場病院)

**あなたの地域の介護老人保健施設 78カ所**

**⑦ろうけん始良**  
 〒899-5652 始良市平松5062  
 ☎0995-65-8091 FAX 0995-67-1474

希望ヶ丘病院  
 居宅介護支援事業所ろうけん始良  
 訪問介護事業所ろうけん始良

**⑧青雲荘**  
 〒899-5431 始良市西餅田3024番地1  
 ☎0995-65-8181 FAX 0995-64-5255

青雲会病院  
 居宅介護支援事業所青雲

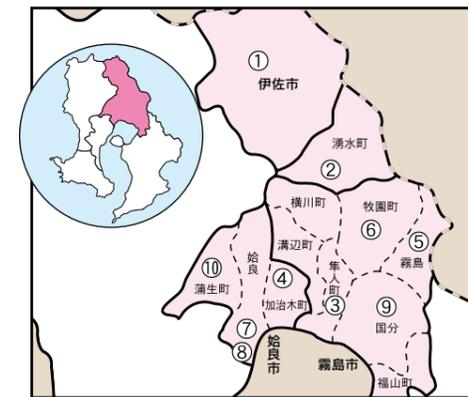
**⑨アメニティ国分**  
 〒899-4301 霧島市国分重久361-1  
 ☎0995-64-0666 FAX 0995-45-4515

鶴木医院(指定介護療養型医療施設)  
 うのきデイサービス(認知症専用)  
 ヘルパーステーションアメニティ国分

**⑩ろうけん大楠**  
 〒899-5304 始良市蒲生町下久徳1249-1  
 ☎0995-54-3333 FAX 0995-54-3338

ろうけん大楠グループホーム「たんぼぼ」  
 ろうけん大楠居宅介護支援事業所  
 大楠苑(特別養護老人ホーム)

**伊佐・始良地区**



**①はやひと**  
 〒895-2504 伊佐市大口青木3022-33  
 ☎0995-22-8000 FAX 0995-22-4868

大口温泉リハビリテーション病院  
 ことぶき園(特別養護老人ホーム)  
 グリーンハイツ周山(ケアハウス)

**②寿芳苑**  
 〒899-6202 始良郡湧水町北方1857  
 ☎0995-74-3300 FAX 0995-74-2504

栗野病院  
 グリーン光芳(特別養護老人ホーム)  
 グループホーム愛の里

**③希望の里**  
 〒899-5111 霧島市隼人町姫城2-157  
 ☎0995-43-1600 FAX 0995-43-2359

隼人温泉病院(療養型病床あり)  
 訪問看護ステーション姫城  
 グループホーム「ゆうゆう」

**④シルバータウン加治木**  
 〒899-5241 始良市加治木町木田4719-1  
 ☎0995-62-5755 FAX 0995-62-5756

加治木温泉病院  
 加治木望岳園(特別養護老人ホーム)  
 龍門の里(軽費老人ホームA型)

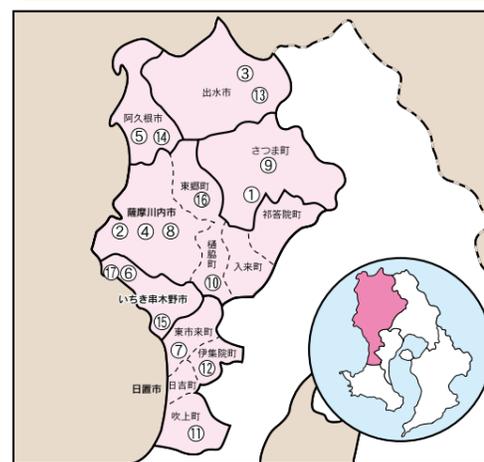
**⑤きりしま**  
 〒899-4201 霧島市霧島田口2115-1  
 ☎0995-57-3410 FAX 0995-57-3415

霧島杉安病院  
 訪問看護ステーションあんしん  
 グループホームゆめ

**⑥サンライトホーム**  
 〒899-6603 霧島市牧園町高千穂3617  
 ☎0995-78-3811 FAX 0995-78-3387

霧島桜ヶ丘病院  
 霧島青葉園(身体障害者療養施設)  
 霧島青寿園(介護老人福祉施設)

**日置・川薩・北薩地区**



**①クオリエ**  
 〒895-1804 薩摩郡さつま町船木2311-8  
 ☎0996-52-1100 FAX 0996-52-1134

クオリアリハビリテーション病院  
 訪問看護・リハクオラリ  
 グループホームアリエ

**②あじさい苑**  
 〒895-0023 薩摩川内市横馬場町8-11  
 ☎0996-23-6000 FAX 0996-23-6373

薩摩川内市在宅介護支援センターあじさい  
 きららクリニック  
 グループホームそら

⑦おさしお

〒893-1103 鹿屋市吾平町麓3766-1  
☎0994-58-5858 FAX 0994-58-5501

グループホームきらら  
長崎内科  
陵幸園(特別養護老人ホーム)

⑧ハーモニーガーデン

〒893-0014 鹿屋市寿4-1-43  
☎0994-41-7800 FAX 0994-41-7802

平和台病院  
介護保険相談センターハーモニーガーデン

⑨コスモス苑

〒891-2124 垂水市錦江町1-140  
☎0994-32-5200 FAX 0994-32-5280

垂水市立医療センター、垂水中央病院  
垂水市立在宅介護支援センターコスモス苑  
居宅介護支援事業所コスモス苑

⑩みなみかぜ

〒893-2301 肝属郡錦江町神川88-1  
☎0994-22-3100 FAX 0994-22-3105

肝属郡医師会立病院  
居宅介護支援事業所みなみかぜ

⑪サンセリテのがた

〒899-8313 曾於郡大崎町野方6047-3  
☎0994-71-0088 FAX 0994-78-3201

はるびゅうクリニック  
訪問看護ステーションふるる  
居宅介護支援事業所サンセリテのがた

⑫ありあけ苑

〒899-7472 志布志市有明野井倉8288-1  
☎099-477-2331 FAX 099-477-2335

曾於医師会立有明病院  
曾於医師会立訪問看護ステーション  
曾於医師会立居宅介護支援事業所

⑬老健とうご

〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-11-12  
☎099-472-1236 FAX 099-472-4640

藤後クリニック(有床診)  
志布志訪問看護ステーション  
橋友会介護支援センター

⑭絆

〒891-2104 垂水市田神3536番地1  
☎0994-32-6161 FAX 0994-32-6163

池田温泉クリニック  
グループホームひまわり苑  
小規模多機能ホームひまわりの里

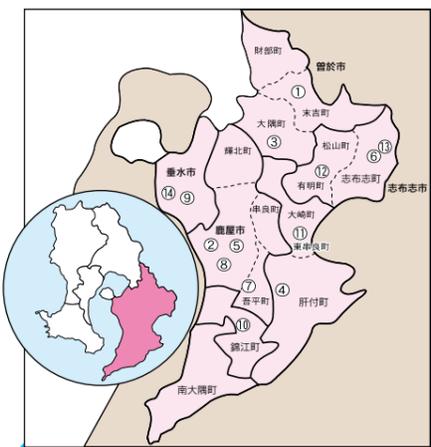
南薩地区

①指宿温泉菜の花苑

〒891-0402 指宿市十町418-1  
☎0993-24-3255 FAX 0993-22-3239

今林整形外科病院  
明正会介護支援ネットワーク菜の花  
(居宅介護支援事業所)

曾於・肝属地区



①高原ナーシングホーム

〒899-8602 曾於市末吉町栄町2-11-1  
☎0986-76-1170 FAX 0986-76-6530

高原病院  
末吉町在宅介護支援センター  
末吉訪問看護ステーション

②ナーシングホームひだまり

〒893-0024 鹿屋市下祓川町1853  
☎0994-41-1200 FAX 0994-41-1727

池田病院  
鹿屋長寿園(特別養護老人ホーム)  
デイサービスセンター鹿屋長寿園

③ケアセンターやごろう苑

〒899-8102 曾於市大隅町岩川5515  
☎0994-82-5963 FAX 0994-82-5964

昭南病院  
北地域診療所  
大隅地域訪問看護ステーション

④老春苑

〒893-1207 肝属郡肝付町新富525  
☎0994-65-1500 FAX 0994-65-1160

春陽会中央病院  
高山町在宅介護支援センター  
訪問看護ステーションたんぼぼ

⑤ヴィラかのや

〒893-0014 鹿屋市寿8-21-2  
☎0994-44-0021 FAX 0994-44-1226

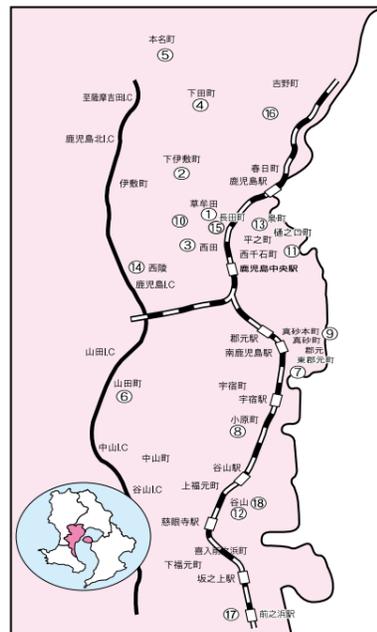
恒心会おぐら病院  
居宅介護支援事業所ヴィラかのや  
訪問看護ステーションことぶき

⑥つわぶき

〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-13-3  
☎099-472-5666 FAX 099-473-3494

病院芳春苑(精神科)  
ケアハウスぬくもり  
グループホーム南の家族

あなたの地域の介護老人保健施設 78カ所



⑬あさひ

〒892-0822 鹿児島市泉町8-2  
☎099-225-8660 FAX 099-225-8601

中央病院  
桜島病院  
桜島苑(特別養護老人ホーム)

⑭ナーシングホーム田上苑

〒890-0032 鹿児島市西陵6-21-18  
☎099-283-0120 FAX 099-283-0517

田上記念病院  
居宅介護支援事業所はるかぜ  
クレセール天保山(介護付有料老人ホーム)

⑮ナーシングホーム城山の森

〒892-0854 鹿児島市長田町223  
☎099-219-1122 FAX 099-219-1123

中村(哲)産婦人科・内科  
博悠会温泉病院  
特別養護老人ホーム城山苑

⑯ろうけん青空

〒892-0871 鹿児島市吉野町6040番地7  
☎099-243-4330 FAX 099-243-5599

内村川上内科  
グループホーム帯迫&ひばり  
小規模多機能ホームひばり

⑰サンシャインきいれ

〒891-0205 鹿児島市喜入前之浜町7808-1  
☎0993-43-1176 FAX 0993-43-1186

特別養護老人ホーム喜入の里  
新田クリニック  
小規模多機能 前之浜

⑱光徳苑

〒891-0141 鹿児島市谷山中央2-4515  
☎099-260-9777 FAX 099-260-5093

④さくらんぼ

〒892-0873 鹿児島市下田町1759  
☎099-244-8811 FAX 099-244-8700

鹿児島市在宅介護支援センターさくらんぼ  
ヘルパーステーションさくらんぼ  
居宅介護支援事業所さくらんぼ

⑤吉田ナーシングホーム

〒891-1304 鹿児島市本名町472  
☎099-294-4561 FAX 099-294-4562

吉田温泉病院居宅介護支援事業所  
ヘルパーステーション ゆうばえ  
訪問介護ステーション 夕映え

⑥フレンドホーム

〒891-0104 鹿児島市山田町450  
☎099-260-6000 FAX 099-275-1309

Tsukasa Health Care Hospital

⑦鴨池慈風苑

〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-6  
☎099-252-8291 FAX 099-252-5526

厚地脳神経外科病院  
厚地リハビリテーション病院  
在宅介護支援センター鴨池慈風苑

⑧愛と結の街

〒891-0111 鹿児島市小原町8-3  
☎099-260-6060 FAX 099-284-5689

居宅介護支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)  
谷山病院  
いづる今村病院・今村総合病院

⑨ひまわり

〒890-0067 鹿児島市真砂本町3-81  
☎099-285-2211 FAX 099-258-7971

大勝病院  
訪問看護ステーション真砂本町  
鹿児島市在宅介護支援センター真砂本町(居宅)

⑩まろにえ

〒890-0014 鹿児島市草牟田2-26-45  
☎099-226-3270 FAX 099-226-3271

米盛病院  
マロニエ訪問看護ステーション「護国」  
整形外科米盛病院居宅介護支援事業所

⑪西千石

〒892-0847 鹿児島市西千石町8-13  
☎099-223-3300 FAX 099-223-3560

日高病院  
介護相談センター西千石  
ヘルパーステーション西千石

⑫フェニックス

〒891-0141 鹿児島市谷山中央1-4021-1  
☎099-268-3636 FAX 099-268-2722

とまり泌尿器科

「黎明」  
祝迫 正豊

新しい年が始まった。どんな1年になるのだろうか。どんな色で表現できるのだろうか。昨年はコロナ禍でグレー色に染まったような日々が続いた。

そんな中で、さまざまな色彩に出会う機会を得た。秋にあった「南九州市みどりの美術展」の審査。会場の同市頴娃の広い武道館には多くの作品が並んだ。さまざまな色調が目飛び込んできた。作者の想いや主題を探る。色調や線は一人ひとり個性となって伝わってくる。

記念大賞は苔に包まれた老木から秋の色調が漂う。川辺の緑陰と白っぽい岩肌を輝くように描いた作品もあった。ジュニアの大賞は、台風で停電になった電線の復旧工事を不安げなブルーグレーで表現している。小学生の絵は発想、色彩が自由で楽しい。絵手紙の最優秀賞は黒々とした川辺牛の顔、頭部を思い切り大きく描き、「きばちよっど」と方言で文字が添えてある。それぞれに作者の温かさ、優しい想いがあふれていた。

「我が街にも美術展を！」と始まった「南九州市みどりの美術展」は、15年がたち、幅広い年齢層が出品、鑑賞できる理想的な郷里の美術展となった。

コロナ禍で家にいる時間が増えたのか、前年の2倍の出品があった。知人によると、絵の具、画材がよく売れているという。

表紙絵「黎明」は鹿児島市と仏・ストラスブル市との文化交流事業「メールアートプロジェクト」に参加した際の作品で、アクリル水彩絵の具で彩色、その上から金箔をコラージュ（貼り絵）し、桜島の輪郭を墨汁で描いた即興的な絵。表紙絵にするに当たって、新しい年に両市の文化、芸術交流のさらなる発展を願った。

新型コロナの終息を願いつつ、新しい年を前向きに、好きな色に染められたら幸いである。



表紙絵 サム号大 (2020年作)



●作家略歴：祝迫 正豊 (いらいご まさとよ)  
 1952年 南九州市生まれ 1986年 第70回二科展「特選」、鹿児島市「新人賞」  
 1988年 第43回南日本美術展「パリ賞」翌年フランス留学、パリ市で個展、第35回県美展 県美展賞(最高賞)  
 1992年 第77回二科展「二科賞」(最高賞)、他に会友賞、会員賞  
 1993年 文化庁現代美術展選抜展(全国巡回)  
 2000年 鹿児島県芸術文化奨励賞  
 2013年 日本・スペイン交流400周年記念展招待(マドリド市)  
 現在、二科会会員、南日本美術展委嘱作家、志学館中等高等部非常勤講師、鹿児島純心女子短期大学非常勤講師

編集後記

◇昨年は新型コロナウイルス感染症が脅威を振るい、私たちの生活も大きく様変わりしました。終息が見通せず、介護や福祉現場では緊張した雰囲気が続いています。感染症が広がる中で多くの新しい言葉も登場しました。「3密(三つの密)」「ソーシャルディスタンス」「オンライン○○」…。新語にはウイルスから身を守る教えが込められています。今年にはマイナス面から生まれる新語ではなく、明るく希望に満ちた言葉が広がるのではないかと思います。

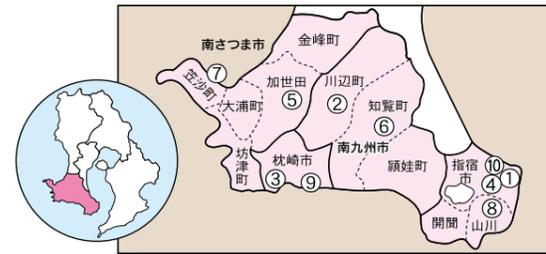
◇信号機のない横断歩道で一時停止をする車の割合が、鹿児島県内は13%、全国平均の21%より低いというニュースが南日本新聞に載っていました。5台に1台も止まらないことになりました。横断歩道を渡れずに困っている子どもやお年寄りを見かけることもあります。車を降りたらみんな歩行者です。自分は思いやり運転を心懸けているか胸に手を当てて考えました。(米)

編集委員 米森 俊一(県老人保健施設協会理事)  
 加治屋 洋(さるびあ苑)  
 中飯屋 博(フレンドホーム)

ろうけん鹿児島 (令和3年冬号) 通巻102号 無料

令和3年1月1日発行  
 編集人 米森 俊一  
 発行人 今村 英仁  
 印刷所 濱島印刷株式会社 鹿児島市上之園町17-2  
 発行所 公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会  
 〒800-0003 鹿児島市中央町8番地1 県医師会館3F  
 TEL:099-200-0033 FAX:099-200-0037  
 電話099-200-0037 FAX099-200-0037  
 E-mail:k-roken@po.minc.ne.jp

熊毛・大島地区



①わらび苑  
 〒891-3101 西之表市西之表2981-1  
 ☎0997-22-2600 FAX 0997-22-2601

医療法人義順顕彰会 田上病院  
 わらび苑居宅介護支援事業所

②沖永良部寿恵苑  
 〒891-9112 大島郡和泊町和泊95-1  
 ☎0997-92-3691 FAX 0997-92-3650

福山医院

③虹の丘  
 〒894-0046 奄美市名瀬小宿字苗代田3416-1  
 ☎0997-54-8888 FAX 0997-54-8800

虹の丘訪問介護事業所  
 虹の丘居宅介護支援事業所  
 在宅介護支援センター虹の丘

④風花苑  
 〒891-9306 大島郡与論町麦屋字風花1305-5  
 ☎0997-97-5011 FAX 0997-97-5012

龍美クリニック

⑤せとうち  
 〒894-0036 大島郡瀬戸内町大字阿木名1975  
 ☎0997-73-1155 FAX 0997-72-4913

奄美中央病院  
 南大島診療所

⑥アマンデー  
 〒894-0504 奄美市笠利町節田字大湊1451-1  
 ☎0997-63-1555 FAX 0997-63-0099

朝沼クリニック(診療所)  
 居宅介護支援事業所たちがみ  
 在宅介護支援センターたちがみ

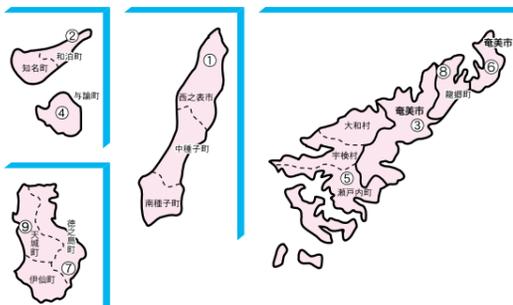
⑦サザンコート  
 〒891-7101 大島郡徳之島町亀津7268  
 ☎0997-83-0061 FAX 0997-83-0093

医療法人南溟会 宮上病院  
 社会福祉法人奄美同仁会 特別養護老人ホーム 南風園

⑧秋名の郷  
 〒894-0332 大島郡郷郷町幾里字浜崎179  
 ☎0997-62-4111 FAX 0997-62-4110

秋名の郷通所リハビリテーション  
 秋名の郷訪問介護事業所

⑨愛心園  
 〒894-0032 大島郡天城町瀬瀨398番地  
 ☎0997-85-5501 FAX 0997-85-5502



②かわなべ寿光苑  
 〒897-0221 南九州市川辺町田部田4848-4  
 ☎0993-56-4311 FAX 0993-56-4331

菊野病院  
 寿光苑在宅介護支援センター

③エスポール立神  
 〒898-0048 枕崎市火之神町630  
 ☎0993-73-2266 FAX 0993-73-2265

小原病院  
 立神リハビリテーション温泉病院  
 ピースフル立神(介護老人福祉施設)

④指宿やすらぎ園  
 〒891-0304 指宿市東方7531  
 ☎0993-24-5593 FAX 0993-24-5912

指宿竹元病院  
 指宿みどり館(認知症高齢者グループホーム)  
 老人性認知症センター

⑤ラポール吉井  
 〒897-0001 南さつま市加世田村原675  
 ☎0993-53-8888 FAX 0993-53-8788

アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町  
 加世田アルテンハイム  
 グループホーム なでしこ

⑥シルバーライフちらん  
 〒891-0911 南九州市知覧町塩屋16016  
 ☎0993-85-4095 FAX 0993-85-4096

ちらんクリニック

⑦さつま野菊園  
 〒897-1302 南さつま市笠沙町赤生木11372-397  
 ☎0993-63-1000 FAX 0993-63-1950

大迫医院  
 フレンドリーハウス のぎく(グループホーム)  
 特別養護老人ホーム 石垣の里

⑧ヴァンペールみどりの風  
 〒891-0514 指宿市山川大山2056-4  
 ☎0993-35-3355 FAX 0993-35-3522

指宿浩然会病院  
 指宿訪問看護ステーション  
 居宅介護支援事業所

⑨サザンケアセンター  
 〒898-0011 枕崎市緑町236  
 ☎0993-72-8855 FAX 0993-72-9233

サザン・リージョン病院  
 サザン訪問看護ステーション  
 南方園(介護老人福祉施設)

⑩指宿温泉ケアサポート  
 〒891-0311 指宿市西方1050番地  
 ☎0993-25-3653 FAX 0993-25-5393

医療法人聖仁会

# 高齢者虐待の防止・早期発見のために 地域で支え合いましょう。

## 理解

虐待が起きる要因は様々です。介護する側・される側双方の不安や悩みを理解することが大切です。

## 見守り

ご近所に気になる高齢者や介護をしている家族がいたら、ちょっとした声かけをお願いします。

## 相談

困りごとを抱えている高齢者や家族がいたら、地域包括支援センター等への相談を勧めましょう。



高齢者虐待についてのご相談は、お住まいの市町村  
又は地域包括支援センターへご相談ください。

※相談窓口となるお住まいの市町村及び地域包括支援センターについては、県ホームページにも掲載しています。

高齢者虐待防止 鹿児島

検索

公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

〒890-0053 鹿児島市中央町8番地1 県医師会館内

TEL 099(206)1047 FAX 099(206)1075

E-mail://k-roken@po.minc.ne.jp

https://kagoshima-roken.or.jp/

